

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
情報エキスパート Computer Expert		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
亀田和則	講義棟3F	月曜日		授業中に指示します
授業の概要				
「パソコンの構成」「周辺装置」「ソフトウェア」について学習し、パソコンの購入やインターネットの接続に必要な基礎知識を得る。				
授業の目標				
①パソコンの5大要素を説明できるようにする。 ②パソコンのハードウェアの役割を説明できるようにする。 ③OSの種類やアプリケーションソフトウェアの種類について説明できるようにする。 ④インターネットの世界について説明できるようにする。				
授業の方法				
①基本的にはプロジェクタを使用した講義である。 ②スケジュールを変更する際には授業にて連絡する。 ③理解度の確認を2回実施する。 ④留学生が受講することを考慮したペースとする。 ⑤毎回、虫食いのプリントを渡すので、その用紙に解答を記入する。				
学習の成果(学習成果)				
授業の目標を達成すると、使用目的に適合するパソコンを選定したり、問題解決に最も適合するソフトウェアを選定することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(学習成果、成績評価) コンピュータの5大要素			
第2回目	パソコンて何だろう			
第3回目	パソコンのハードを理解する1(さまざまなパソコンの形、外から見たパソコン、パソコンの種類、パソコンの中身を知ろう、パソコンの中核CPU、CPUの種類)			
第4回目	パソコンのハードを理解する2(データの一時保管庫メモリ、メモリの種類、マザーボードとチップセット、データの通り道バス)			
第5回目	パソコンのハードを理解する3(マウス、キーボード、その他の入力機器、ディスプレイ、パソコンの表示能力)			
第6回目	パソコンのハードを理解する4(記憶装置とメディア、ハードディスク、メディアのフォーマット、CDメディア、DVDメディア、フラッシュメモリとメモリカード)			

第7回目	パソコンのハードを理解する5 (サウンド、デジタルカメラとデジタルビデオ、スキャナ、プリンタ、モデム・ルータ、ネットワーク、無線LAN、ハードウェアのインターフェース、バッテリー)	
第8回目	パソコンのハードを理解する6 (モデム・ルータ、ネットワーク、無線LAN、ハードウェアのインターフェース、バッテリー)	
第9回目	理解度の確認1と解説	
第10回目	ソフトウェアを知る1 (OSとは、ウインドウズ、ウインドウズの画面、MacOS、Linux、ファイル、ワープロソフト、フォント、表計算ソフトプレゼンテーションソフト、オフィスソフト、フラフィックソフト)	
第11回目	ソフトウェアを知る2 (画像ファイルの形式、パソコンで聴く音楽、パソコンで創る音楽、動画やテレビ放送、ウイルス対策ソフト、ソフトと賢くつきあう)	
第12回目	インターネットの世界1 (インターネットでできること、インターネットのしくみ、インターネットに参加する、ウェブサイトとホームページ、ブラウザと情報検索)	
第13回目	インターネットの世界2 (電子メール、ウェブページやブログをつくる、ウェブページの技術、可能性を広げるインターネット、ネットを安心して使うためには)	
第14回目	理解度の確認2と解説	
第15回目	授業で学習した内容の復習	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート	50%	毎回のプリントが該当する。満点となる条件は「すべての解答が正解」である。
調査報告書		
小テスト	50%	理解度の確認が該当する。試験1つあたりの配点は50点/2である。記述問題で満点となる条件は「授業内容を十分に踏まえ、文章が明快である」である。
試験		
発表内容 (態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：「かんたんパソコン入門 改訂5版」 (出版：技術評論社) (著者：丹羽信夫)		
履修上の留意点・ルール		
2回の遅刻は1回の欠席となる。		